

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名アパレルデザイン科メンズデザインコース3年	単 位	4 単位
科目コード	科目名パターンデザイン論	授業期間	年間

担当教員(代表) :	小川 登	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要：アパレル企業を始め衣料関係企業に於ける即戦力を目指した、パタンナーの育成。

到達目標：各アイテムの原型パターン作成に伴う、採寸方法、体型把握、実物型紙作製、着せ付けテクニック、補正方法迄。

レベル設定：メンズパタンナーの実技試験に対応する作図法で、シャツ、スラックス、ベスト、ジャケット、コートの各アイテムを機能性とデザイン性を加味した裁断方法で実習し型紙設計（パターンデザイン）を体系的に理解させる。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	デザイン領域・メンズ企画・品質・生産概論・パタン作製 メンズパタン概論に付いて	16	メンズフォーマルの基礎知識 ・フォーマルのジャケット（ピークカラー） ・1/4尺定規によるフォーマルのトレースの作製。 ・実寸による、SB1ボタンモデル製図の作製実習。
2	スラックス（基本構造と名称・採寸方法に付いて。） ・1/4尺定規によるワンアウトタックモデルの製図のトレース 作製実習 ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。	17	フォーマルジャケット（ショールカラー） ・1/4尺定規によるSB1ボタンモデル製図の トレースの作製。 実寸によるSB1ボタンモデル製図。
3	ドレスシャツ（基本モデル作製） ・1/4尺定規によるドレスシャツモデル製図のトレース作製 ・実寸によるドレスシャツモデルの製図の作製実習。 ・採寸要領及び体型補正方法の講師準備。	18	SB3ッボタン中掛けモデル ・1/4尺定規によるSB3ッボタン中掛けモデルの トレースの作製。 ・実寸による、SB3ッボタンモデル製図の作製実習。
4	スラックス（基本モデル作製）JIS基本サイズ。 ・1/4尺定規によるワンタックモデルトレース実習 ・実寸によるワンタックモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。	19	ノーフォークジャケット ・1/4尺定規のノーフォークのトレース作製。 ・実寸によるノーフォークモデル製図の作製実習 ・現物本縫いサンプルによるイメージと注意点。
5	スラックス（ツータックモデル作製） ・1/4尺定規によるスリーブ基本モデルの製図のトレース 作製実習。 ・実寸によるツータックモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。	20	ジャケット用スリーブ基本モデルとプレザー。 ・1/4尺定規によるスリーブのトレース作製。 ・実寸による、スリーブモデル製図。 ・実寸によるDB4プレザーモデル製図

6	<p>スラックス（ニッカボッカ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるニッカボッカ製図のトレースの作製実習。 ・実寸によるニッカボッカの製図の実習 	21	<p>グレーディングの基本。ジャケット、ベスト、スラック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるグレーディング作製実習。 ・1/4尺定規による体型補正の作製。
7	<p>スラックス（補正方法に付いて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規による補正方法の書き方。。 <p>JIS基本サイズに付いて。</p>	22	<p>ラグランコート（基本モデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるラグランコート製図トレース作製実 ・採寸方法及び着せ付け方法について。 ・現物仮縫いサンプルによる、イメージと注意点。
8	<p>ベストSB5ツボタンモデル（基本モデル作製）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるSB5ツボタンモデルの製図のトレース実習 ・実寸によるSB5ツボタンモデルの製図の作製実習。 ・着せ付けによる体型把握、とボタン補正方法の実習。 	23	<p>ラグランスリーブ（基本モデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるラグランスリーブのトレース実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 ・実寸によるラグランコートモデル製図の作製実習。
9	<p>ベスト5ツボタンモデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実寸によるSB5ツボタンモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 	24	<p>ラグランスリーブと補正方法の書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実寸による、ラグランスリーブモデルの製図の作製実習 ・ラグランコートモデルの補正方法の書き方。
10	<p>ベストDB6ツボタンモデルと補正方法の書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるDB6ボタンのトレース製図。 ・実寸によるDB6ツボタンモデルの製図の作製実習。 <p>現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認</p>	25	<p>キングサイズジャケット（基本モデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるキングサイズ製図トレース実習。 ・実寸によるキングサイズジャケットの製図の作製。
11	<p>スラックス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実寸スラックスのボタン作製の確認を行い構造線と寸法変化に伴う出来上り製品の感覚を養う。 ・基本構造と名称及びJIS基本サイズに付いて。 	26	<p>キングサイズジャケット（基本モデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実寸によるキングサイズ製図の作製実習。 ・実寸によるSB2釦モデルの製図の作製実習 ・1年間の進行状態の確認実施。
12	<p>カマーバンド（5本ヒダ）と家庭用品品質表示法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるカマーバンドの製図トレース実習 ・実寸によるカマーバンドの製図の作製実習 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 ・商品の品質に関する主な法律に付いて。 	27	<p>ダブルコート（基本モデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4縮尺DB6ボタンコートのトレース実習 ・実寸による、DB6ボタンコートモデル作製。 ・試験概要の説明。

13	<p>ジャケット（基本構造と名称・採寸方法に付いて。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるスリーブ製図のトレース作製実習 ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。 	28	<p>ダブルコート用スリーブ。（基本モデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実寸によるDB6ダブルコートモデルの作製。 ・ダブルコート用スリーブ。
14	<p>ジャケット（基本モデル作製）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるSB2ツボタン製図のトレース作製実習。 ・実寸によるSB2ツボタンモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。 	29	
15	<p>グレーディングの基本。ジャケット&ベスト、スラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるグレーディングの基本実習 ・1/4尺定規による体型補正方法。 <p>・紳士服の生産</p>	30	

【評価方法】

1・実技作図試験 2・ジャケット、スラックスモデル（メンズパターン実技試験対応） 3・授業姿勢 4・出席時間数

主要教材図書 1・伝統的紳士服裁断方法 2・オリジナルテキスト 3・オリジナル資料

参考図書

その他資料

記載者氏名 小川 登

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KD	科名	アパレルデザイン科メンズデザインコース3年	単 位	2 単位
科目コード	608200	科目名	メンズファッション環境情報	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 金田武	共同担当者 :
----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 デザイナーとしての必要不可欠な技術及びその活用方法の育成を目標とし、卒業後企業において即戦力として活躍できるレベルの、実務的ワーキングスキルとコミュニケーション能力の修得を目指します。

【授業計画】

前半	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレルにおける業務フローと関連事項の解説 ・アパレルにおける業務の個人での実践 ・個人での業務フローに即したシャツの作製 (作製したシャツは文化祭バザー等で販売) 	<p>2コマ</p> <p>4コマ</p>
中～後半	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルとファッションビジネスの解説 ・サステナブルファッションビジネスの実践 ・学生によるブランド立ち上げと展示会の開催 ・アパレルにおける業務のチームによる実践 ・チームでの業務フローに即したアイテムの作製 (作製したアイテムは展示会で販売及び受注) ・展示会後のバルク修正発注業務 ・その他、各分野のデザイナー(テキスタイル等)とのトークセッション 	<p>2コマ</p> <p>16コマ</p> <p>2コマ</p> <p>2コマ</p>

【評価方法】
 S～C・F 評価 学業評価 60% 授業姿勢 40%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	アパレル企業業務資料

授業の特徴と担当教員紹介 実践型、体験型、授業
 アパレル歴 38 フリーランスデザイナー(メンズ、レディース)

記載者氏名 金田武

科コード KC2	科名 アパレルデザイン科2年	単位	1
科目コード 501900	科目名 色彩論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 天野豊久

共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

1年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、色彩をファッションデザインに展開するための技術や考え方を学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | | |
|-----------------------|----------|---|---------------|
| 1. 導入 | 導入 | 色彩のはたらき | 〈講義 1コマ〉 |
| 2. 概論 | 産業と色彩 | 産業における色彩の役割
流行色のしくみ | 〈講義 1コマ〉 |
| 3. ファッションカラーコーディネーション | | 色相・トーンによる配色
ファッションカラーコーディネーション
トーン・オン・トーン/フォ・カマイユ
トーン・イン・トーン/コンプレックスハーモニー
色彩構成とデザイン展開 | 〈講義および演習 6コマ〉 |
| 4. イメージと色彩 | | 色彩の心理的効果/色の連想・象徴
ファッションイメージと配色
イメージからのデザイン展開 | 〈講義および演習 3コマ〉 |
| 5. 色彩計画 | カラーデザイン① | コンセプト、テーマの策定 | 〈講義および演習 4コマ〉 |
| | カラーデザイン② | イメージ構築、カラーパレットの展開 | |
| | カラーデザイン③ | カラーバリエーションの展開 | |

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座9『服飾デザイン』(文化服装学院編/文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

演習を中心とする。

天野豊久 東京造形大学造形学部美術学科卒 日本色彩学会会員

記載者書名欄 天野豊久

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 アパレルデザイン科2年	単 位	1
科目コード	科目名 ファッションプランニング演習1	授業期間	後期

担当教員：神藤 綾	
-----------	--

教育目標・レベル設定など
 デザイナーを目指す学生に向けて、アパレル業界での業務推進に必要な知識を習得し、基本的なデザイン力、自己のアイデアを他者に伝えられる積極的なコミュニケーション能力を養う。デザイナー職に求められる、基本的なスキルを鍛え、次年度の就職活動や、卒業後の進路に向けての意識を高め、更なる自己啓発を促すことが目標。

<授業概要>
 1 アパレルのワークフロー・・・ 授業説明、商品の流れ～アパレルのワークフローについて
 2. デザイナーの仕事について・・・ブランドによって、下代, 上代が違う件・・・やれることが違ってくる
 3. 実際のブランドを設定し、そのブランドのコンセプトを研究する、商品を見る・・・「やりたいことと、やれること」「どんなデザイナーになりたいのか」キャリアプランを考えてみる
 実存するブランドを軸にしてデザインしていくためのプロセスとして、ブランドリサーチをしてもらう。
 リサーチしたものをマップ化して発表してもらう
 4. 5. 製品リサーチ・服の仕様を調べて、製品図にする・・・お客様目線で、見ていた服を、作り手側目線でみてる
 6. 7. 8 デザイントレーニング基礎編①～③ 定めた設定の中で、求められるデザインを、幾通りも出し、絵におこす。
基礎編
 ①ベーシックアイテムのデザイン…シャツ編②素材感を意識する…ブラウス編 ③ターゲットを意識する…スカート編
 ④デザイン性の強弱を意識する…パンツ編
 9. 10. 11 デザイントレーニング応用編④～⑥ ……リサーチしたブランドを基に、各自新シーズンのデザインを提案する。
応用編
 ④グループでリサーチを行う⑤各自リサーチを基にデザイン展開を行う⑥グループ内でデザインミーティングを行いメインスタイル、サブスタイルを決める。
 12. オケーションの考え方について…お客様の購買意欲を掻き立てるニーズ服のデザインは、どういうものか考える
 13. 研修旅行でのショップリサーチからのデザイン提案とプレゼンを行う
 14まとめ ブランドとシーズンに合わせたデザイン画をスタイル画で3体提案する
 前回、リサーチしたブランドに対して次シーズンのデザインを考える。デザイン画を3体描く 全 14 コマ

評価方法 評価方法：S～C/F 評価
 授業姿勢 40% 授業内課題 60%
 授業内での決められた時間内で、集中したデザインワークを実践し、課題に対しての理解力、求められているコトに対する提案力、デザインの意図を伝えられる表現力。以上を総合的に評価対象とする。

参考図書、その他資料 なし

【授業の特徴】
 授業時間内で集中してデザインすること。欠席した場合は次回までに課題は終わらせておくこと
【担当教員紹介】
 京都精華大学デザイン学部グラフィックデザイン学科を卒業後文化服装学院に入学し、服作りの基礎を学ぶ。
 アパレルデザイン科を卒業後、アパレル企業にデザイナーとして就職。ハイゾーンブランドから、セレクトショップのプライベートブランドの立ち上げなど、様々な経験を積む。退社後、未来のデザイナーに伝える事、学びのサポートに興味を持ち母校である文化服装学院で講師を務める。

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科名	アパレルデザイン科2年	単位	1 単位
科目コード	902000	科目名	西洋美術史	授業期間	後期

担当教員(代表)：布施伊織	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 複雑な成立過程を孕むようになった近代の西洋美術作品を中心に解説。単純に美術作品を紹介するのではなく、なぜそれらの傑作が生まれたのか、芸術家がどういう意図で作品制作を行ったのかを考察することで、クリエイションの方法論を探り、デザイン発想の引き出しを増やすことにつなげる。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
美術史的アプローチ方法の解説	座学	1
新古典主義、新たに成立した風景画、ロマン主義の哲学、芸術のメッセージ性(クールベ、マネなどを通じて)	座学	1
芸術の純粋性とは。印象派、ポスト印象派を通じて	座学	1
変容した絵画概念。セザンヌ、ゲシュタルト心理学などを通じて	座学	1
装飾概念の解説、キュビズムとフォービズム、表現主義。	座学	2
素材、表現スタイルなど芸術の多様化。デュシャンなど	座学	1
ハウハウス概説	座学	1
ポスト芸術。ポロックやウォーホルなど	座学	1
現代アート概説	座学	2
課題説明、実習	座学	1
実習、提出	座学	1

【評価方法】
 出席率、授業内レポート、最終回のデザイン発想実習

授業の特徴と担当教員紹介
 慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻卒。文化服装学院アパレルデザイン科卒。アパレル企業勤務を経て、アスリートマネジメントを行う会社に勤務。教養だけで終わりがちな西洋美術史の知識を、発想にいかせるように伝えることを目指す。

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 布施伊織